

第 I 部 総 論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、令和5年3月末現在で96.0%（総人口5,101千人に対して給水人口4,895千人）となっており、未給水人口は206千人となっています。

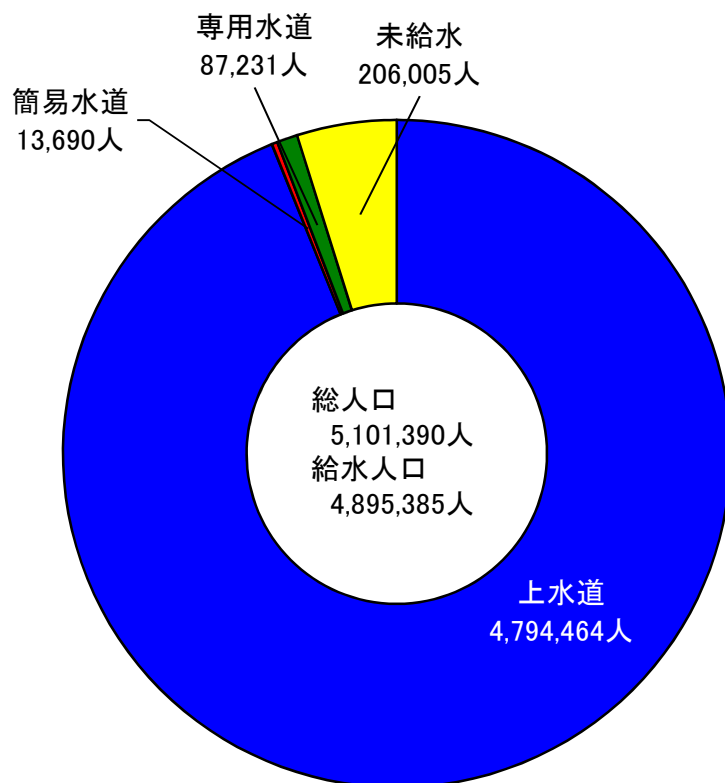
広域圏別の水道普及率は、福岡地区と筑豊地区がいずれも96.8%と最も高く、次いで北九州地区が96.6%、筑後地区が92.1%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4,794千人（98.0%）と大部分を占めており、次いで専用水道が87千人（1.8%）、簡易水道が14千人（0.3%）となっています。

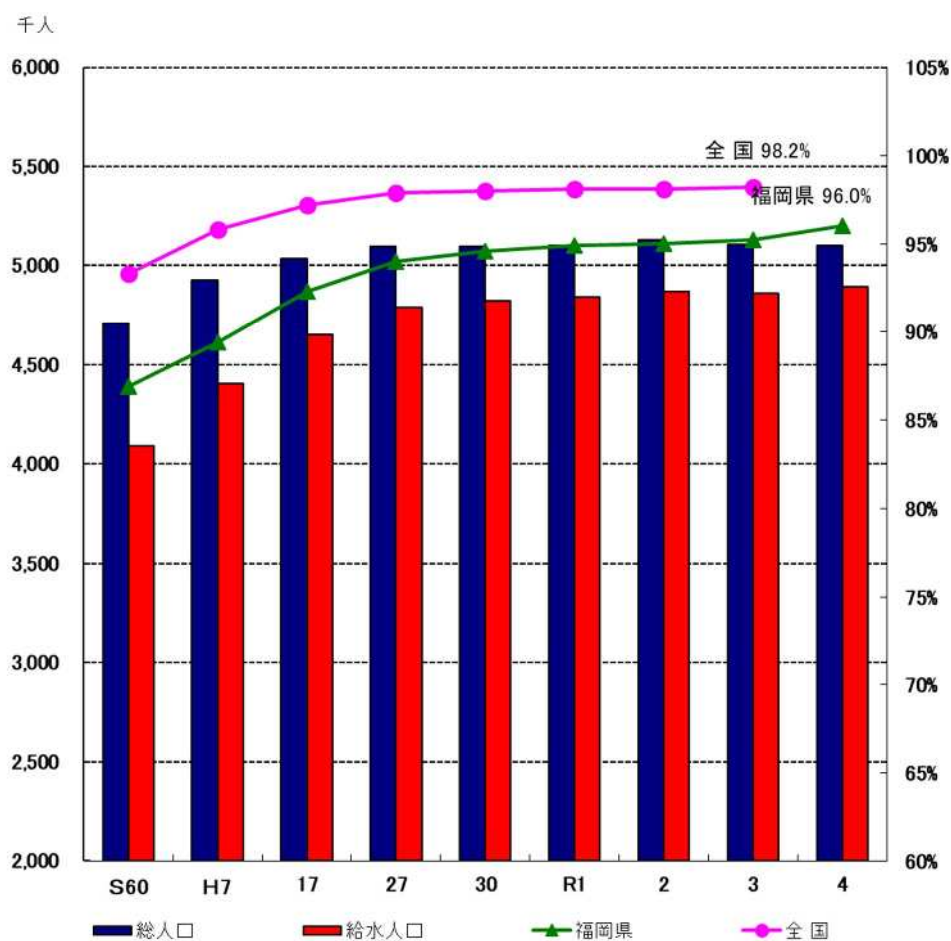
◎ 現在給水人口と普及率（令和5年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口(人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,631,197	2,547,751	1,271	21,688	83,446	96.8%
北九州	1,226,415	1,184,487	3,989	2,985	41,928	96.6%
筑後	858,497	790,261	2,446	58,047	68,236	92.1%
筑豊	385,281	372,886	5,984	4,511	12,395	96.8%
県計	5,101,390	4,895,385	4,794,464	13,690	87,231	96.0%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



	S60	H7	17	27	30	R1	2	3	4	
本県の総人口 (千人)	4,708	4,926	5,037	5,096	5,099	5,102	5,128	5,106	5,101	
本県の給水人口 (千人)	4,090	4,404	4,650	4,789	4,823	4,840	4,870	4,859	4,895	
普及率	福岡県	86.9%	89.4%	92.3%	94%	94.6%	94.9%	95%	95.2%	96%
	全国	93.3%	95.8%	97.2%	97.9%	98%	98.1%	98.1%	98.2%	未公表

※ 本資料作成時点で、全国の令和4年度値は未公表

2 給水の状況

(1) 年間給水量

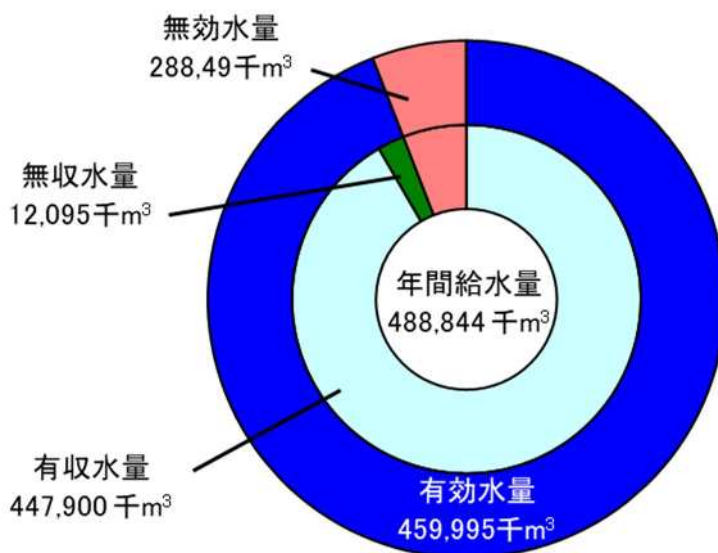
令和4年度の年間給水量は 488,844 千 m³ となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.6%)。なお、年間給水量は前年度から 2,721 千 m³ 減少しています。

また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率)は 94.1%となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	235,745	229,203	225,415	3,788	6,542	97.2%	95.6%
	北九州	131,551	121,166	117,736	3,430	10,385	92.1%	89.5%
	筑後	73,420	69,231	66,391	2,840	4,189	94.3%	90.4%
	筑豊	46,494	39,202	37,190	2,012	7,292	84.3%	80.0%
	計	487,210	458,802	446,732	12,070	28,408	94.2%	91.7%
簡易水道	福岡	150	118	116	2	32	78.7%	77.3%
	北九州	259	245	240	5	14	94.6%	92.7%
	筑後	428	269	259	10	159	62.9%	60.5%
	筑豊	797	561	553	8	236	70.4%	69.4%
	計	1,634	1,193	1,168	25	441	73.0%	71.5%
合計	488,844	459,995	447,900	12,095	28,849	94.1%	91.6%	

※ 簡易水道の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない。



- 年間給水量：水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量（有効水量＋無効水量）
- 有効水量：水道の使用上有効とされた水量（有収水量＋無収水量）
- 有収水量：料金徴収の対象となった水量
- 無収水量：料金徴収の対象とならなかった水量（管洗浄用水、メータ不感水量等）
- 無効水量：水道の使用上無効とされた水量（配水管からの漏水等）

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 366,964 千 m³、業務・営業用が 69,322 千 m³、工場用が 8,374 千 m³、その他が 2,073 千 m³となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m³)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	187,581	36,757	562	515	225,415
北九州	94,610	18,469	3,920	737	117,736
筑後	54,892	9,033	1,695	772	66,392
筑豊	29,881	5,063	2,197	49	37,190
計	366,964	69,322	8,374	2,073	446,733
構成比率	82.1%	15.5%	1.9%	0.5%	100.0%

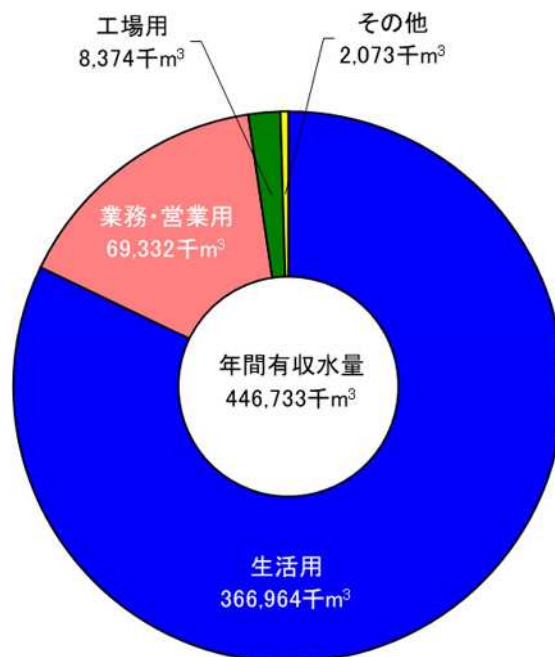
※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署用、学校用、病院用、事務所用、営業用、公衆浴場用等

工場用：工場用

その他：上記用途以外のもの



(3) 平均給水量、最大給水量

令和4年度における一日平均給水量は 1,339 千 m³、一日最大給水量は 1,577 千 m³と なっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 279 リットル、最大給水量が 328 リットルとなっ ており、広域圏別にみると、筑豊地区が最も多く、次いで北九州地区、筑後地区、福岡地区の 順となっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区 分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m ³)	一人一日 (リットル)	日最大 (m ³)	一人一日 (リットル)
福 岡	上水道	645,877	256	719,484	285
	簡易水道	412	324	566	445
	計	646,289	256	720,050	285
北九州	上水道	360,414	306	435,080	369
	簡易水道	711	178	1,117	280
	計	361,125	306	436,197	369
筑 後	上水道	201,151	276	248,241	340
	簡易水道	1,171	479	1,617	661
	計	202,322	276	249,858	341
筑 豊	上水道	127,381	352	167,214	461
	簡易水道	2,183	365	3,251	543
	計	129,564	352	170,465	463
県 計	上水道	1,334,822	278	1,570,019	328
	簡易水道	4,477	327	6,551	479
	計	1,339,299	279	1,576,570	328
全 国	上水道	-	330	-	366

※本資料作成時点で全国の令和4年度値が未公表のため、前年度(令和3年度)値を掲載

○ 平均給水量

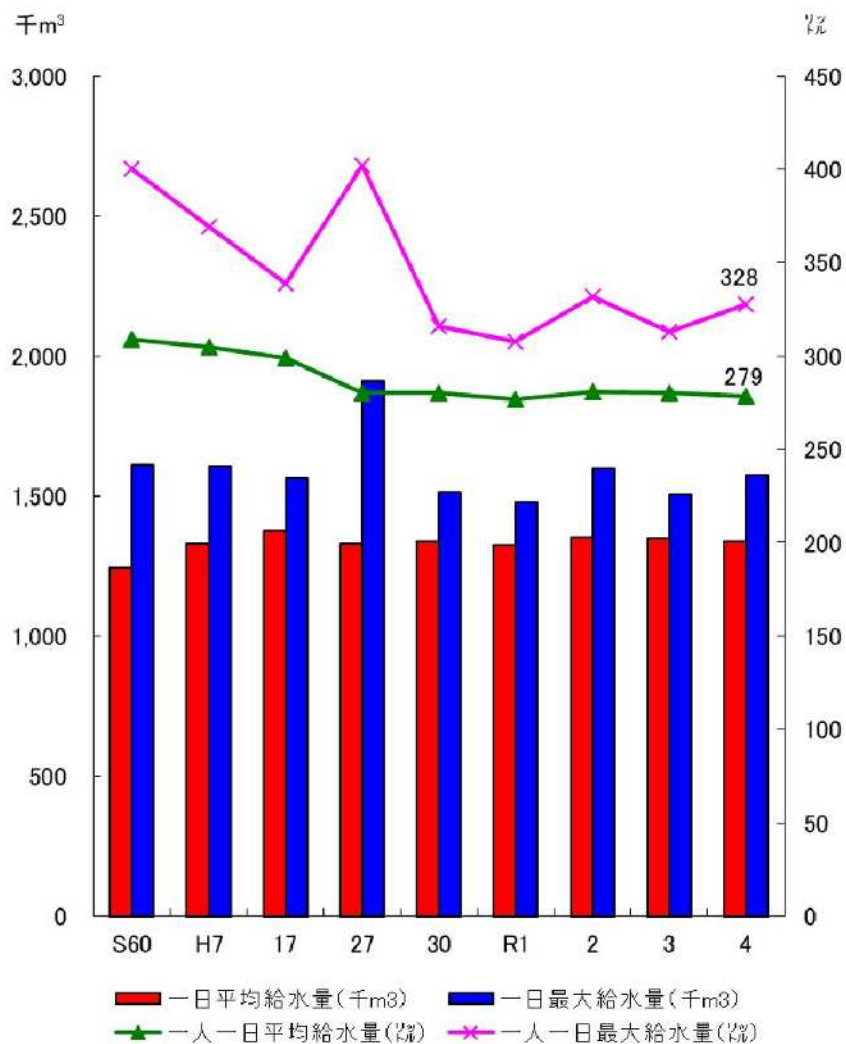
- ・ 日 平 均 : 年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・ 一人一日 : 日平均給水量 ÷ 給水人口

○ 最大給水量

- ・ 日 最 大 : 水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一人一日 : 日最大給水量 ÷ 給水人口

一日最大給水量、一人一日最大給水量は、平成28年1月の記録的寒波に伴う給水管の凍結・破損等による漏水の影響で一時的に増加した平成27年度を除き、ほぼ横ばいで推移しています。一日平均給水量・一人一日平均給水量については、近年、ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



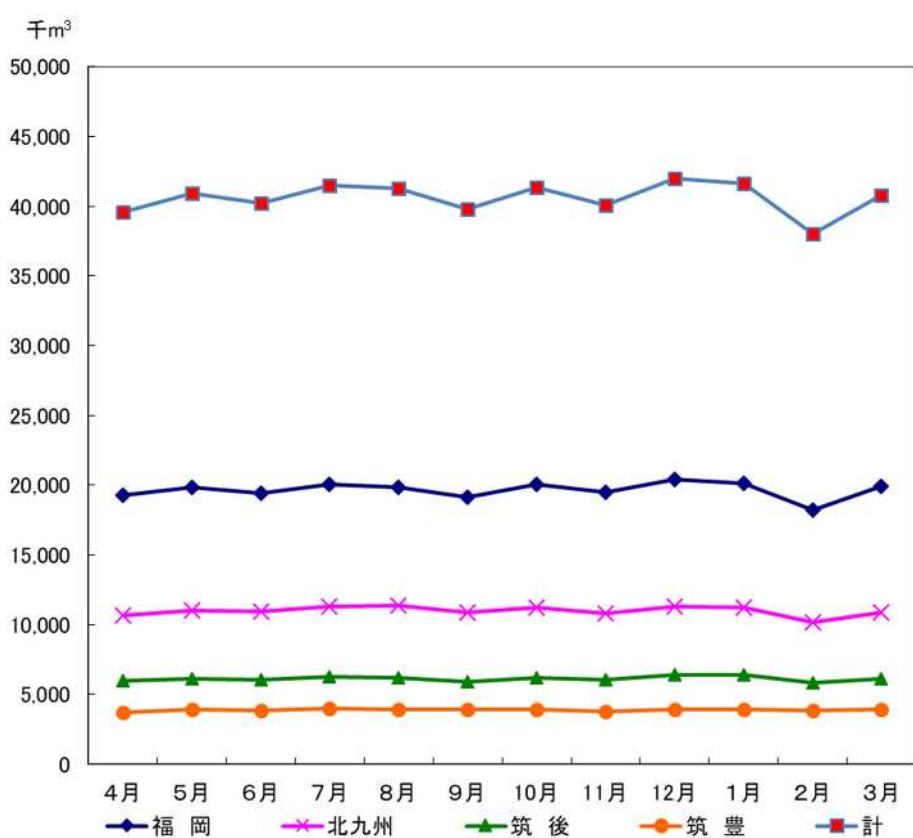
区分 \ 年度	S60	H7	17	27	30	R1	2	3	4
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,376	1,331	1,339	1,327	1,352	1,347	1,339
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,562	1,912	1,512	1,479	1,598	1,506	1,577
一人一日平均給水量(%)	309	305	299	280	280	277	281	280	279
一人一日最大給水量(%)	400	369	339	402	316	308	332	313	328

(4) 月別給水量

令和4年度の上水道事業における月別給水量の最大値は12月の42,001千 m^3 であり、最小値は2月の38,009千 m^3 となっています。

広域圏別にみると、福岡地区の最大値は12月の20,436千 m^3 、最小値は2月の18,205千 m^3 、北九州地区の最大値は8月の11,367千 m^3 、最小値は2月の10,140千 m^3 、筑後地区の最大値は1月の6,409千 m^3 、最小値は2月の5,844千 m^3 、筑豊地区の最大値は7月の3,961千 m^3 、最小値は4月の3,720千 m^3 となっています。

◎ 月別給水量(上水道)

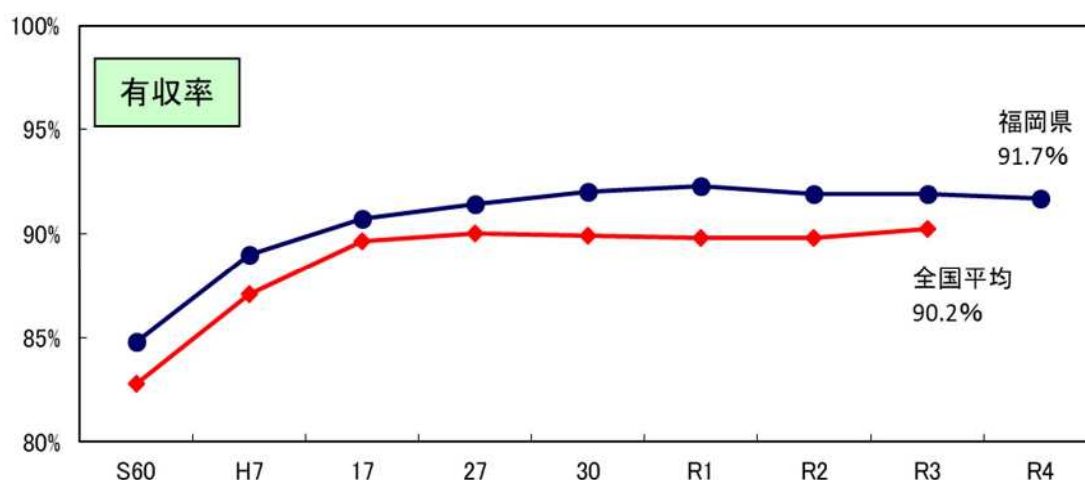
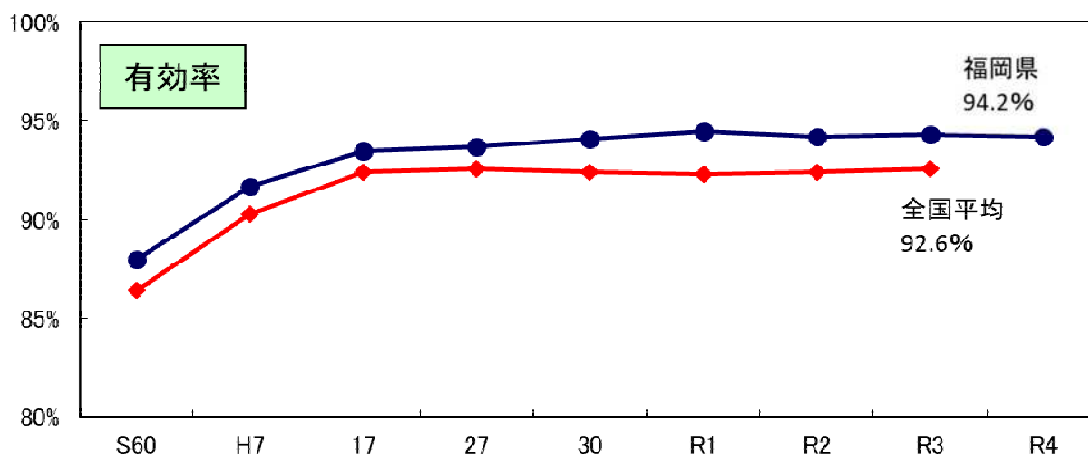


広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	19,243	19,865	19,423	20,057	19,824	19,141	20,082	19,485	20,436	20,103	18,205	19,881	235,745
北九州	10,662	11,026	10,896	11,260	11,367	10,868	11,214	10,783	11,257	11,227	10,140	10,851	131,551
筑後	5,949	6,132	6,078	6,225	6,163	5,919	6,165	6,022	6,365	6,409	5,844	6,149	73,420
筑豊	3,720	3,905	3,857	3,961	3,922	3,899	3,920	3,814	3,943	3,928	3,820	3,905	46,594
計	39,574	40,928	40,254	41,503	41,276	39,827	41,381	40,104	42,001	41,667	38,009	40,786	487,310

(5) 有効率、有収率

上水道事業における令和4年度の有効率は94.2%、有収率は91.7%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	17	27	30	R1	R2	R3	R4
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.5%	93.7%	94.1%	94.5%	94.2%	94.3%	94.2%
	全国	86.4%	90.3%	92.4%	92.6%	92.4%	92.3%	92.4%	92.6%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.7%	91.4%	92.0%	92.3%	91.9%	91.9%	91.7%
	全国	82.8%	87.1%	89.6%	90.0%	89.9%	89.8%	89.8%	90.2%	未公表

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

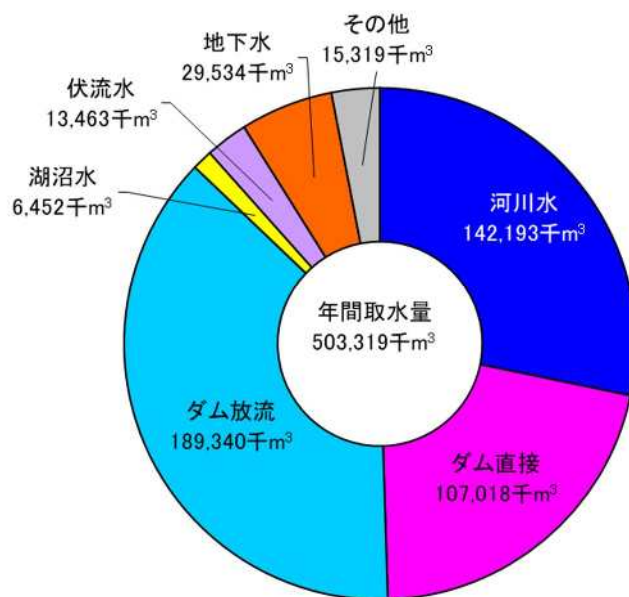
○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の令和4年度の値は未公表

3 取水の状況

令和4年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて503,319千 m^3 で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(88.4%)。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位:千 m^3)

年度	S60	H7	17	27	30	R1	2	3	4
河川水	116,791	163,039	129,617	111,554	129,956	139,266	132,932	130,636	142,193
ダム直接	131,761	113,409	109,365	137,185	116,547	118,384	129,651	121,218	107,018
ダム放流	134,891	120,667	165,716	172,500	185,484	175,178	183,607	186,128	189,340
湖沼水	5,537	7,981	9,327	6,599	7,377	6,985	7,070	7,289	6,452
伏流水	22,736	24,389	31,518	15,968	18,743	19,117	12,844	13,985	13,463
地下水	47,998	56,701	49,135	35,865	32,091	30,492	30,149	30,042	29,534
その他	1,003	1,429	24,138	15,476	13,295	14,800	14,702	17,153	15,319
(海水淡水化)	-	-	(23,497)	(14,809)	(12,728)	(14,185)	(14,074)	(16,531)	(14,684)
計	460,717	487,615	518,816	495,147	503,493	504,222	510,955	506,451	503,319

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

4 財務の状況

(1) 総収益と総費用

令和4年度における上水道事業の総収益は1,023億円となっており、前年度から11億円増加しています。また、総費用は922億円となっており、前年度から19億円増加しています。

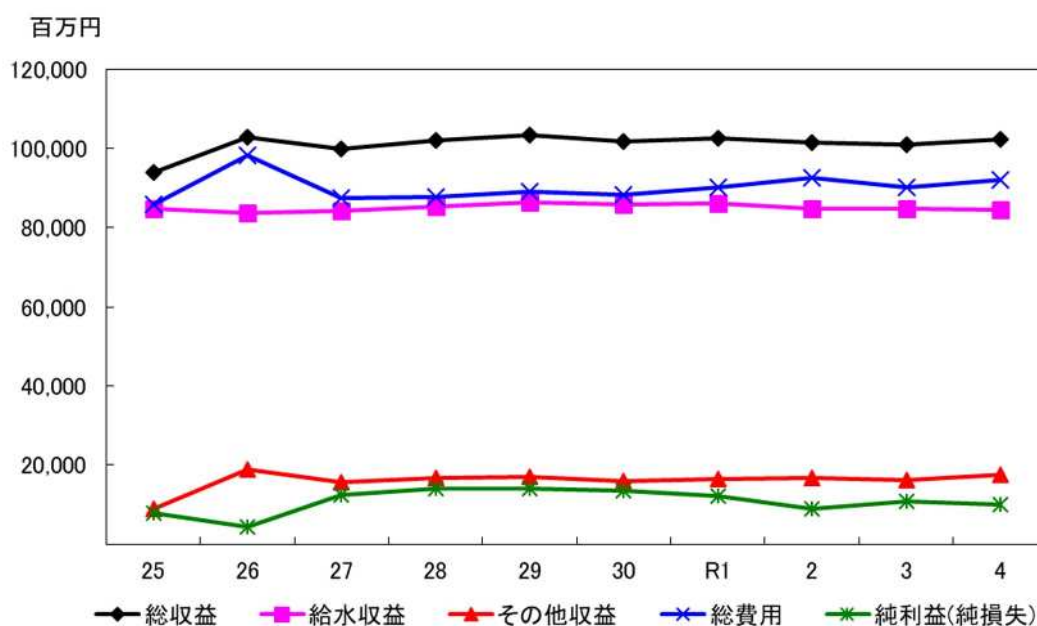
なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は101億円となっており、前年度から7億年減少しています。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:百万円)

年 度	総収益 (A)		総費用 (B)	純利益(純損失) (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
25	93,840	84,874	85,887	7,953
26	102,737	83,752	98,337	4,400
27	99,874	84,341	87,490	12,384
28	101,890	85,209	87,866	14,024
29	103,221	86,379	89,173	14,048
30	101,855	85,859	88,330	13,524
R1	102,511	86,152	90,259	12,252
2	101,575	84,791	92,656	8,920
3	101,065	84,824	90,267	10,797
4	102,252	84,616	92,176	10,076



(2) 費用構成

令和4年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費が約半分を占めています。

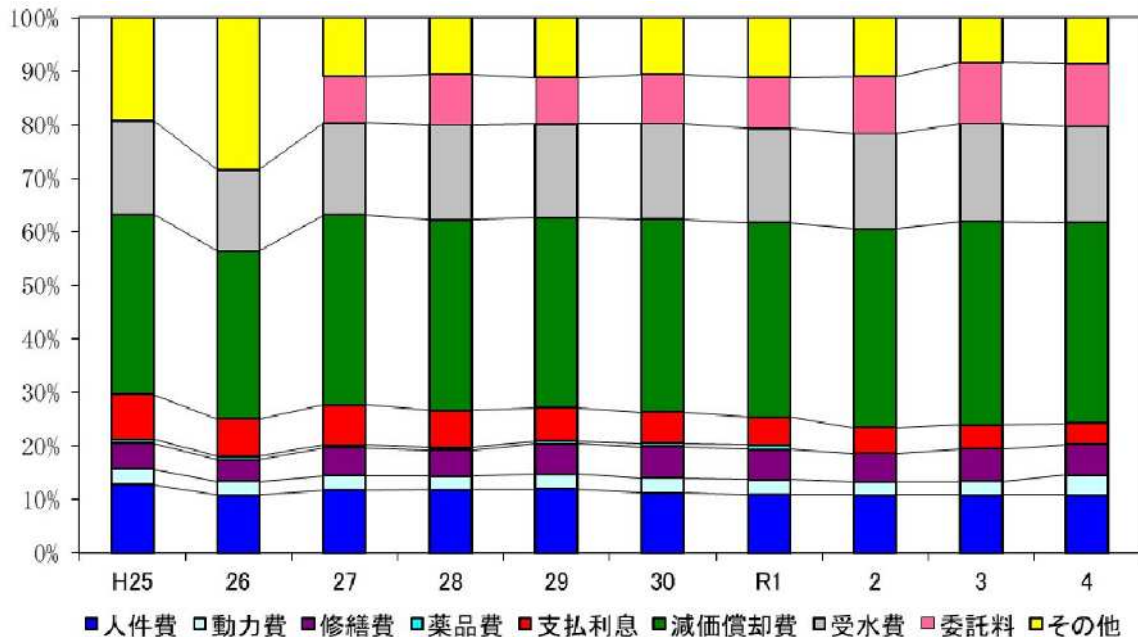
また、減価償却費は増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位: 百万円)

年度	H25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4
人件費	10,919 (12.8%)	10,572 (10.8%)	10,162 (11.7%)	10,349 (11.9%)	10,581 (12.0%)	9,817 (11.2%)	9,853 (11.0%)	9,900 (10.7%)	9,637 (10.7%)	9,795 (10.7%)
動力費	2,457 (2.9%)	2,516 (2.6%)	2,373 (2.7%)	2,226 (2.6%)	2,451 (2.8%)	2,493 (2.8%)	2,524 (2.8%)	2,304 (2.5%)	2,363 (2.6%)	3,405 (3.7%)
修繕費	4,047 (4.8%)	4,029 (4.1%)	4,460 (5.2%)	4,223 (4.8%)	4,968 (5.6%)	5,088 (5.8%)	5,015 (5.6%)	4,829 (5.2%)	5,334 (5.9%)	5,162 (5.6%)
薬品費	640 (0.8%)	565 (0.6%)	507 (0.6%)	477 (0.5%)	542 (0.6%)	589 (0.7%)	721 (0.8%)	642 (0.7%)	699 (0.8%)	920 (1.0%)
支払利息	7,219 (8.5%)	6,832 (7.0%)	6,423 (7.4%)	5,950 (6.8%)	5,481 (6.2%)	5,040 (5.8%)	4,677 (5.2%)	4,398 (4.8%)	4,002 (4.5%)	3,656 (4.0%)
減価償却費	28,589 (33.6%)	30,585 (31.3%)	30,728 (35.5%)	31,075 (35.6%)	31,360 (35.5%)	31,503 (36.0%)	32,598 (36.3%)	34,009 (36.9%)	33,799 (37.7%)	33,853 (37.0%)
受水費	14,841 (17.4%)	14,846 (15.2%)	14,880 (17.2%)	15,457 (17.7%)	15,477 (17.5%)	15,640 (17.9%)	15,686 (17.5%)	16,235 (17.6%)	16,316 (18.2%)	16,348 (17.9%)
委託料			7,462 (8.6%)	8,196 (9.4%)	7,577 (8.6%)	8,049 (9.2%)	8,546 (9.5%)	9,718 (10.5%)	10,070 (11.2%)	10,595 (11.6%)
その他	16,389 (19.3%)	27,773 (28.4%)	9,557 (11.0%)	9,245 (10.6%)	9,974 (11.3%)	9,289 (10.6%)	10,078 (11.2%)	10,135 (11.0%)	7,540 (8.4%)	7,803 (8.5%)
計	85,101 (100.0%)	97,718 (100.0%)	86,552 (100.0%)	87,199 (100.0%)	88,410 (100.0%)	87,508 (100.0%)	89,698 (100.0%)	92,170 (100.0%)	89,761 (100.0%)	91,537 (100.0%)

※平成27年度から「委託料」が、統計項目として追加された。(平成26年度までは「その他」に含まれていたもの。)



5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

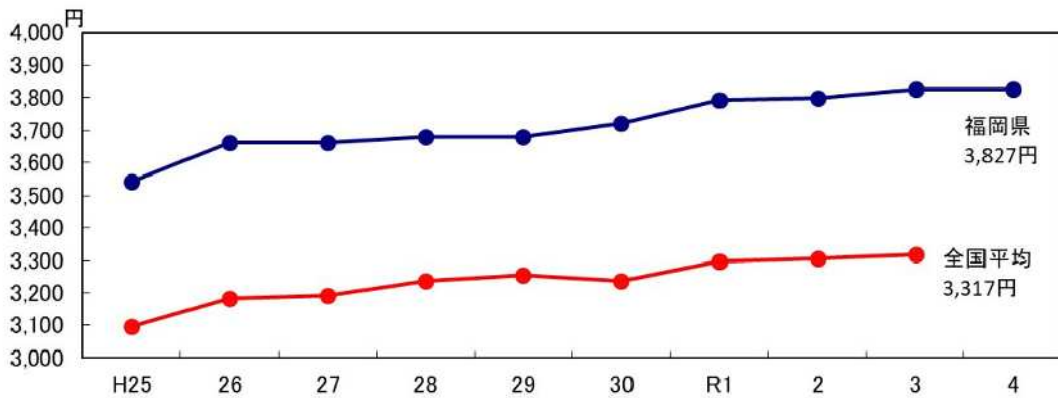
令和5年3月末現在における家庭用1ヶ月20 m³の水を使用した際の料金に対する事業数の分布は下記の表のとおりです。また、県平均の水道料金は3,827円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月20 m³当たりの水道料金（上水道）

（令和5年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	2
2,500円以上～3,000円未満	4
3,000円以上～3,500円未満	6
3,500円以上～4,000円未満	19
4,000円以上～4,500円未満	13
4,500円以上	6

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20 m³当たり）



（単位：円）

年度	H25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4
福岡県	3,543	3,661	3,663	3,681	3,681	3,722	3,792	3,799	3,827	3,827
全国平均	3,098	3,183	3,192	3,236	3,254	3,236	3,298	3,306	3,317	未公表

※ 基礎料金・メーター使用料を含む

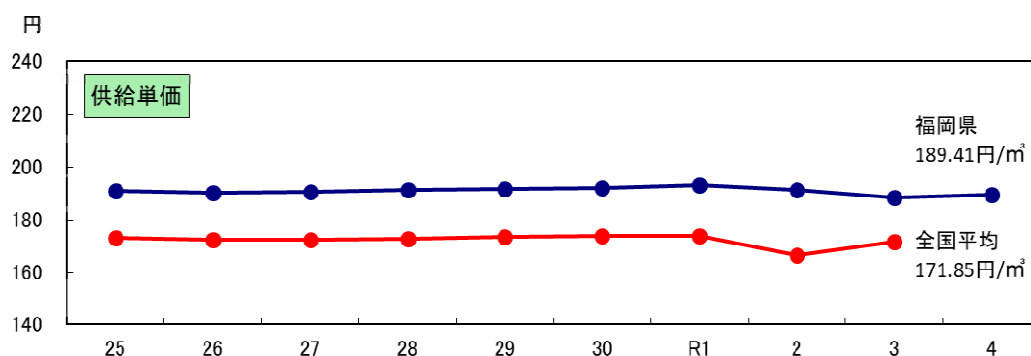
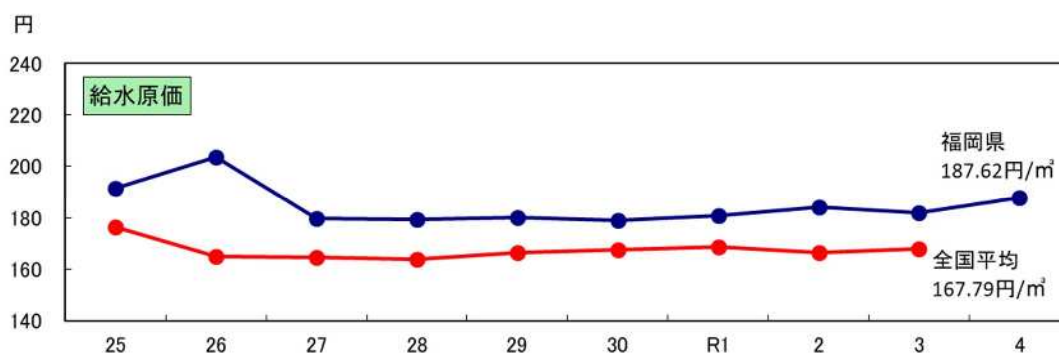
※ 本資料作成時点で、全国の令和4年度値は未公表

6 給水原価と供給単価（上水道）

令和4年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 187.62 円/m³ 及び 189.41 円/m³ となっています。

また、いずれも全国平均を上回って推移し、近年は横ばい傾向を示しています。

◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m³)

年度		25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4
給水原価	福岡県	191.35	203.39	179.74	179.17	180.20	179.06	180.90	183.91	182.02	187.62
	全国平均	176.51	165.13	164.40	163.85	166.41	167.70	168.58	166.47	167.79	未公表
供給単価	福岡県	190.84	190.32	190.64	191.25	191.83	191.94	193.08	191.41	188.43	189.41
	全国平均	173.12	172.34	172.47	172.80	173.33	173.99	174.01	166.64	171.85	未公表

○ 給水原価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の令和4年度の値は未公表